

女性が活躍できるための市民への啓発推進事業【尾道市】

地域の実情と課題

平成27年度の市民意識調査で、就業の機会・職場において男女の地位が「平等になっている」と思う人の割合は21.0%であった。女性の活躍を推進していくためには、就業の機会・職場において男女格差を解消していく必要がある。

目的・目標

性別にかかわらず、互いにその人権を尊重し、活躍できる男女共同参画社会の実現をめざすため、平成28年度策定の「尾道市男女共同参画基本計画」に基づき、市民に幅広く啓発し、男女共同参画の大切さや必要性の理解する。

事業の特徴

女性の活躍を進めるために、男女共同参画の意識を高め、女性が活躍するための機運を醸成できるよう、広く市民に対して啓発を行うため、男女共同参画講演会を開催する。

連携団体

開催周知の協力をいただいた主な団体

- 人権擁護委員
- 因島地区区長連合会
- 因島老人クラブ
- 女性団体
- 保健推進員

事業の効果

- アンケート結果。前回(令和元年2月開催)と比較。
- 男女共同参画に関心あり。前回:26.8%→今回:53.2%
 - 女性活躍に興味あり。前回:9.8%→今回:26.6%
 - 次の言葉を知っている。
 - 男女共同参画 前回:79.2%→今回:91.1%
 - 女性活躍推進法 前回:26.8%→今回:36.3%
 - 認識が深まった 前回:67.5%→今回:73.4%

今後の課題

参加者の内60代70代で8割強であったのもっと幅広い参加者となるよう開催場所や広報等において工夫が必要である。

事業の概要

「尾道市男女共同参画講演会」を開催しました。

目的

性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会、男女が差別を受けることなく対等なパートナーとして様々な分野に参画し、利益も責任も分かち合っていけるような男女共同参画社会の実現を目指し、市民に幅広く啓発する。

世界の男女（ひと）たちは今～もっと輝く、明日からの生き方～



「ジェンダー平等」について、途上国の女子の就学率をあげるため自身が支援した経験をもとに、女性・ガールズのエンパワーメントについてわかりやすくお話しいただいた。経済力を得て生きていくためにはどうしたらよいかなど、女性の活躍支援は、思春期からすることの必要性を指摘された。SDGsにも触れ、女性差別の撤廃、ジェンダー平等を訴えた。

講師 大崎 麻子 さん

参加者の声

- ★世界的視点からジェンダーを考える必要性を感じた。
- ★男性、女性が持てる力を発揮できる環境が持続可能な社会となれる。

男女共同参画や女性活躍への認識が深まった